

< 目 次 >

- ♣ 動き出した高原開発 8
- ♣ 最終段階に入った
農業構造改善事業 26
- ♣ 八代石油配分基地の現況 31
 - ★ 県政サロン ★
夏の食品にご用心 32
 - 生活メモ— 食品衛生と冷蔵庫 16
 - ★ 県政なんでも相談室 ★
雇用サービスセンター 34

<ここに人あり>

ふるさとの歴史を編む・渡辺守夫さん 25

>町から・村から<

河浦町・山鹿市・八代市

□ 話のくずかご——熊本の観光を考える
 挨拶をするところ・宮川久子 36

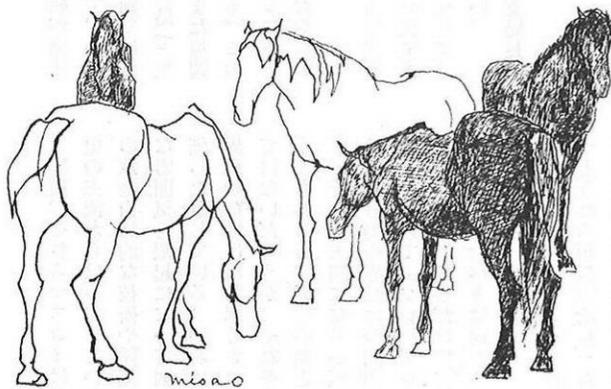
★ ずいそう ★

清水慶太郎・野口みさを・吉倉 真

★ グラビアページ ★

夏の食品を監視する・くまもとの特産「肥後表」ほか

- ・表紙……初秋阿蘇・目次及び本文カット……野口みさを
- ・センターカラー……三角の海水浴場



Misa O

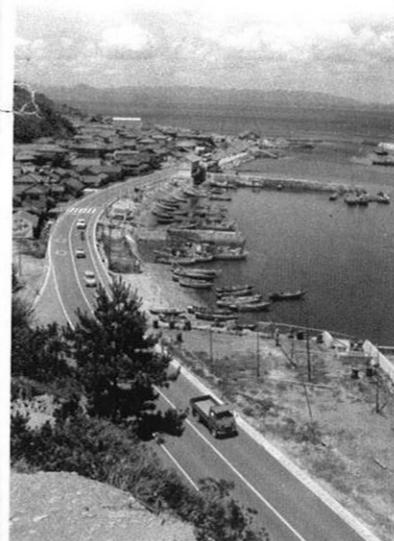
海の青、島の青を縫って

牛深港には、漁船のマストが、夏の日さしの中に、重なり合うように光っていた。

ルート 266は、港の入口に近い牛深市役所の前を起点に、下島・上島・大矢野島を縦断、三角町を走るルート 57との合流点まで93.7kmを走る天草の産業・経済の大動脈である。

牛深の狭い町並みを抜けると、すぐ山坂にかかる。ここから本渡市まで、車は山間部を走り、盆地をすぎる。本渡市から瀬戸橋を渡り、上島の青い山影と光る海の間を車はすべるように走る。点在する漁村。車窓からみえる天草の家は建てられた時の材質そのままに時の流れに耐えている。明かるい天草がそこにもあった。

すれちがうトラックは、早朝に熊本市場へ行った帰りだろうか。五橋は、きょうも観光バスを迎え、送っていた。



▲有明町上津浦付近までくると瀬戸橋と海が広がり天草の旅情もひとしお。



▲牛深市役所前、ルート 266はここを起点に北へ伸びる。



▲牛深・本渡間では道路改良工事がさかんに進められている。



▲天草を走ると、素朴な味わいのある風景を散見することができる。



▲瀬戸橋は上島と下島を結ぶ道路の唯一の接点。五橋完成によってその重要度は一層高くなっている。